

平成25年度

第2四半期決算（中間決算）説明資料

株式会社 大 光 銀 行

【目 次】

I. 平成25年度第2四半期決算（中間決算）の概況			
1. 損益状況	単	(1)
	連	(2)
2. 業務純益	単	(3)
3. 主要勘定残高	—	(3)
(1) 末残	単	(3)
(2) 平残	単	(3)
4. 利鞘	—	(4)
(1) 全店分	単	(4)
(2) 国内業務部門分	単	(4)
5. ROE	単	(5)
6. 有価証券関係損益	単	(5)
7. 自己資本比率（国内基準）	単・連	(6)
II. 貸出金等の状況			
1. 金融再生法開示債権	単	(7)
2. 金融再生法開示債権の保全状況	単	(7)
3. リスク管理債権の状況	単・連	(8)
4. 償却・引当基準と引当状況	単	(9)
5. 貸倒引当金等の状況	単・連	(9)
6. 自己査定状況	単	(10)
7. 自己査定・保全の状況と開示債権	単	(10)
8. 業種別貸出状況等	—	(11)
(1) 業種別貸出金	単	(11)
(2) 業種別リスク管理債権	単	(11)
(3) 業種別リスク管理債権の貸出残高比	単	(12)
(4) 消費者ローン残高	単	(12)
(5) 中小企業等貸出比率	単	(12)
9. 国別貸出状況等	—	(13)
(1) 特定海外債権残高	単	(13)
(2) アジア向け貸出金	単	(13)
(3) 中南米主要諸国向け貸出金	単	(13)
(4) ロシア向け貸出金	単	(13)
10. 預金、貸出金の残高	—	(13)
(1) 末残	単	(13)
(2) 平残	単	(13)
11. 預り資産（末残）の状況	単	(13)
III. 有価証券の評価損益			
1. 有価証券の評価基準	単・連	(14)
2. 評価損益	単・連	(14)
IV. 平成26年3月期業績予想			
1. 単体	単	(15)
2. 連結	連	(15)

（注）1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 「平成25年度第2四半期決算（中間決算）の概況」以下の24年9月期比、24年9月末比、25年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 平成25年度第2四半期決算（中間決算）の概況

1. 損益状況

●コア業務純益は、預り資産の積極販売などから役員取引等利益が増加したほか、人件費など経費が減少しましたが、資金利益の減少などから前年同期比92百万円減少の20億89百万円となりました。
●経常利益は、実質与信関係費用の減少に加えて、有価証券関係損益が改善したことなどもあり前年同期比4億27百万円増加の14億66百万円となりました。
●中間純利益は、法人税等調整額を含めた税金費用の増加などがありました、前年同期比3億9百万円増加の9億14百万円となりました。

【単体】

（単位：百万円）

	25年9月期		24年9月期
		24年9月期比	
業務粗利益	9,067	△515	9,582
（コア業務粗利益）	(9,146)	(△236)	(9,382)
国内業務粗利益	8,733	△600	9,333
資金利益	8,548	△366	8,914
役員取引等利益	236	17	219
その他業務利益 （うち国債等債券関係損益）	△51 (△79)	△251 (△278)	200 (199)
国際業務粗利益	333	85	248
資金利益	308	76	232
役員取引等利益	1	0	1
その他業務利益 （うち国債等債券関係損益）	23 (-)	9 (-)	14 (-)
経費（除く臨時処理分）	7,056	△145	7,201
人件費	3,836	△127	3,963
物件費	2,933	△18	2,951
税金	286	0	286
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	2,010	△370	2,380
コア業務純益	2,089	△92	2,181
①一般貸倒引当金繰入額	△108	246	△354
業務純益	2,119	△615	2,734
うち国債等債券関係損益	△79	△278	199
臨時損益	△652	1,043	△1,695
②不良債権処理額	913	△513	1,426
貸出金償却	535	△37	572
個別貸倒引当金繰入額	319	△462	781
偶発損失引当金繰入額	43	△13	56
債権等売却損	14	△1	15
（貸倒償却引当費用①+②）	804	△268	1,072
株式等関係損益	138	351	△213
③償却債権取立益	293	172	121
その他臨時損益	△171	6	△177
経常利益	1,466	427	1,039
特別損益	△78	△56	△22
固定資産処分損	28	25	3
減損損失	49	30	19
税引前中間純利益	1,388	372	1,016
法人税、住民税及び事業税	399	△73	472
法人税等調整額	74	136	△62
法人税等合計	474	64	410
中間純利益	914	309	605
（参考）実質与信関係費用（①+②-③）	510	△440	950

（注）1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益

2. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

【連結】

<連結損益計算書ベース>

●連結中間純利益は、単体の業績を主因として前年同期比3億18百万円増加の9億44百万円となりました。

(単位：百万円)

	25年9月期	24年9月期比	24年9月期
	連結粗利益	9,151	△527
資金利益	8,876	△295	9,171
役務取引等利益	263	10	253
その他業務利益	11	△241	252
営業経費	7,128	△234	7,362
①貸倒償却引当費用	806	△287	1,093
貸出金償却	546	△41	587
個別貸倒引当金繰入額	310	△469	779
一般貸倒引当金繰入額	△117	236	△353
偶発損失引当金繰入額	43	△13	56
債権等売却損	24	1	23
株式等関係損益	138	351	△213
②償却債権取立益	293	172	121
持分法による投資損益	25	6	19
その他経常損益	△155	△90	△65
経常利益	1,517	434	1,083
特別損益	△78	△56	△22
税金等調整前中間純利益	1,439	379	1,060
法人税、住民税及び事業税	408	△74	482
法人税等調整額	75	136	△61
法人税等合計	484	64	420
少数株主損益調整前中間純利益	955	316	639
少数株主利益	10	△2	12
中間純利益	944	318	626
(参考) 実質与信関係費用 (①-②)	513	△459	972

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

連結業務純益	2,171	△611	2,782
--------	-------	------	-------

(注) 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社業務純益 (勘定修正) - 内部取引

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	2	-	2
持分法適用会社数	2	-	2

2. 業務純益【単体】

（単位：百万円）

	25年9月期	24年9月期	
		24年9月期比	
(1) 業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	2,010	△370	2,380
職員一人当たり（千円）	2,054	△321	2,375
(2) コア業務純益	2,089	△92	2,181
職員一人当たり（千円）	2,135	△41	2,176
(3) 業務純益	2,119	△615	2,734
職員一人当たり（千円）	2,166	△562	2,728

（注）1. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

2. 職員数は、期中平均人員（出向者を除く）で計算しております。

3. 主要勘定残高【単体】

(1) 末残

（単位：百万円）

	25年9月末	24年9月末	
		24年9月末比	
資金運用勘定残高	1,295,767	21,672	1,274,095
うち貸出金	886,434	13,974	872,460
うち有価証券	375,526	7,227	368,299
うちコールローン	20,000	—	20,000
資金調達勘定残高	1,260,212	12,006	1,248,206
うち預金	1,246,110	17,136	1,228,974
うち借入金	9,470	△550	10,020
うち社債	3,000	△5,000	8,000
うちコールマネー	1,564	556	1,008

(2) 平残

（単位：百万円）

	25年9月期	24年9月期	
		24年9月期比	
資金運用勘定残高	1,262,955	9,416	1,253,539
うち貸出金	852,207	15,597	836,610
うち有価証券	372,213	△7,007	379,220
うちコールローン	25,374	△1,306	26,680
資金調達勘定残高	1,224,715	13,803	1,210,912
うち預金	1,210,436	18,522	1,191,914
うち借入金	9,931	40	9,891
うち社債	3,000	△5,000	8,000
うちコールマネー	1,277	377	900

4. 利鞘【単体】

(1) 全店分

(単位：%)

	25年9月期	24年9月期	
		24年9月期比	24年9月期
資金運用利回 (A)	1.45	△0.08	1.53
貸出金利回 (B)	1.69	△0.16	1.85
有価証券利回	1.05	0.10	0.95
資金調達利回 (C)	0.06	△0.02	0.08
預金等利回	0.05	△0.00	0.05
外部負債利回	0.77	△0.03	0.80
預金等原価 (D)	1.21	△0.05	1.26
資金調達原価 (E)	1.21	△0.05	1.26
資金運用調達利回差 (A) - (C)	1.39	△0.06	1.45
預貸金利鞘 (B) - (D)	0.47	△0.11	0.58
総資金利鞘 (A) - (E)	0.24	△0.02	0.26

(2) 国内業務部門分

(単位：%)

	25年9月期	24年9月期	
		24年9月期比	24年9月期
資金運用利回 (A)	1.41	△0.08	1.49
貸出金利回 (B)	1.69	△0.16	1.85
有価証券利回	0.94	0.04	0.90
資金調達利回 (C)	0.06	△0.01	0.07
預金等利回	0.05	△0.00	0.05
外部負債利回	0.81	△0.00	0.81
預金等原価 (D)	1.20	△0.05	1.25
資金調達原価 (E)	1.20	△0.06	1.26
資金運用調達利回差 (A) - (C)	1.35	△0.06	1.41
預貸金利鞘 (B) - (D)	0.48	△0.11	0.59
総資金利鞘 (A) - (E)	0.20	△0.03	0.23

5. ROE【単体】

（単位：％）

	25年9月期	24年9月期比	
		24年9月期比	24年9月期
コア業務純益ベース	5.90	△0.93	6.83
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）ベース	5.67	△1.79	7.46
業務純益ベース	5.98	△2.59	8.57
経常利益ベース	4.14	0.89	3.25
中間純利益ベース	2.58	0.69	1.89

（注） 分母となる自己資本平均残高は、{（期首純資産－期首新株予約権）＋（期末純資産－期末新株予約権）} ÷ 2 で算出しております。

6. 有価証券関係損益【単体】

（単位：百万円）

	25年9月期	24年9月期比	
		24年9月期比	24年9月期
国債等債券関係損益（5勘定戻）	△79	△278	199
売却益	224	25	199
償還益	—	—	—
売却損	302	302	—
償還損	1	1	—
償却	—	—	—
株式等関係損益（3勘定戻）	138	351	△213
売却益	138	138	—
売却損	—	—	—
償却	—	△213	213

7. 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率（国内基準）は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行が保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号）に基づき算出しております。

●平成25年9月末の自己資本比率（国内基準）〔速報値〕は、劣後債の期日前償還によるTierⅡの減少などから、単体・連結ともに24年9月末比0.90ポイント低下し、単体が11.53%、連結が11.56%となりました。

●一方、TierⅠ比率は、着実な内部留保の積み上げから、単体が24年9月末比0.05ポイント上昇し9.66%、連結が同0.06ポイント上昇し9.68%となり、引続き十分な水準を維持しております。

【単体】

（単位：百万円）

	25年9月末	〔速報値〕		25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
(1) 自己資本比率	11.53%	0.11%	△0.90%	11.42%	12.43%
(2) TierⅠ	59,343	708	1,460	58,635	57,883
(3) TierⅡ	11,462	△131	△5,535	11,593	16,997
（イ）うち自己資本に計上された土地再評価差額	2,000	△22	△37	2,022	2,037
（ロ）うち自己資本に計上された一般貸倒引当金	2,462	△109	△498	2,571	2,960
（ハ）うち劣後債務残高	4,000	—	—	4,000	4,000
（ニ）うち劣後債残高	3,000	—	△5,000	3,000	8,000
(4) 控除項目	—	△2	—	2	—
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	70,806	579	△4,075	70,227	74,881
(6) リスク・アセット等	613,826	△938	11,648	614,764	602,178

自己資本比率	11.53%	0.11%	△0.90%	11.42%	12.43%
TierⅠ比率	9.66%	0.13%	0.05%	9.53%	9.61%
TierⅡ比率	1.86%	△0.02%	△0.96%	1.88%	2.82%

【連結】

（単位：百万円）

	25年9月末	〔速報値〕		25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
(1) 自己資本比率	11.56%	0.11%	△0.90%	11.45%	12.46%
(2) TierⅠ	59,619	739	1,501	58,880	58,118
(3) TierⅡ	11,579	△139	△5,554	11,718	17,133
（イ）うち自己資本に計上された土地再評価差額	2,000	△22	△37	2,022	2,037
（ロ）うち自己資本に計上された一般貸倒引当金	2,579	△117	△516	2,696	3,095
（ハ）うち劣後債務残高	4,000	—	—	4,000	4,000
（ニ）うち劣後債残高	3,000	—	△5,000	3,000	8,000
(4) 控除項目	—	△2	—	2	—
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	71,198	601	△4,053	70,597	75,251
(6) リスク・アセット等	615,458	△932	11,651	616,390	603,807

自己資本比率	11.56%	0.11%	△0.90%	11.45%	12.46%
TierⅠ比率	9.68%	0.13%	0.06%	9.55%	9.62%
TierⅡ比率	1.88%	△0.02%	△0.95%	1.90%	2.83%

（注）1. リスク・アセット等は、信用リスク・アセットの額及びオペレーショナル・リスク相当額に係る額の合計であります。

2. リスク・アセット等の算出において、信用リスクについては「標準的手法」、オペレーショナル・リスクについては「基礎的手法」をそれぞれ採用しております。

Ⅱ. 貸出金等の状況

・未収利息不計上基準

自己査定で「破綻先」「実質破綻先」及び「破綻懸念先」に分類した債務者は、未収利息をすべて収益不計上として開示しております。

1. 金融再生法開示債権

【単体】

(単位：百万円)

		25年9月末	25年3月末比	24年9月末比	25年3月末	24年9月末
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,911	△229	△1,398	6,140	7,309
	破綻先債権	719	△512	△817	1,231	1,536
	実質破綻先債権	5,191	283	△582	4,908	5,773
	危険債権	28,920	△2,503	△3,840	31,423	32,760
	要管理債権	828	△71	△239	899	1,067
	小計(A)	35,660	△2,803	△5,477	38,463	41,137
	正常債権	860,113	1,027	20,197	859,086	839,916
	債権額合計	895,774	△1,776	14,720	897,550	881,054

(単位：%)

		25年9月末	25年3月末比	24年9月末比	25年3月末	24年9月末
債権残高構成比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.66	△0.02	△0.17	0.68	0.83
	破綻先債権	0.08	△0.06	△0.09	0.14	0.17
	実質破綻先債権	0.58	0.03	△0.08	0.55	0.66
	危険債権	3.23	△0.27	△0.49	3.50	3.72
	要管理債権	0.09	△0.01	△0.03	0.10	0.12
	小計	3.98	△0.31	△0.69	4.29	4.67
	正常債権	96.02	0.31	0.69	95.71	95.33
	債権額合計	100.00	—	—	100.00	100.00

2. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位：百万円)

		25年9月末	25年3月末比	24年9月末比	25年3月末	24年9月末
保全額 (B)		30,495	△2,128	△4,593	32,623	35,088
	貸倒引当金	5,156	△269	△838	5,425	5,994
	担保保証等	25,339	△1,858	△3,755	27,197	29,094

(単位：%)

保全率 (B) / (A)	85.52	0.70	0.22	84.82	85.30
---------------	-------	------	------	-------	-------

3. リスク管理債権の状況

【単体】

（単位：百万円）

		25年9月末	25年3月末比	24年9月末比	25年3月末	24年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	712	△504	△805	1,216	1,517
	延滞債権額	33,767	△2,300	△4,414	36,067	38,181
	3ヶ月以上延滞債権額	21	3	△38	18	59
	貸出条件緩和債権額	807	△74	△200	881	1,007
	合計	35,308	△2,876	△5,458	38,184	40,766
（部分直接償却額）		(6,103)	(△31)	(595)	(6,134)	(5,508)
貸出金残高（未残）		886,434	△3,224	13,974	889,658	872,460

（単位：％）

貸出金残高比	破綻先債権額	0.08	△0.06	△0.09	0.14	0.17
	延滞債権額	3.81	△0.24	△0.57	4.05	4.38
	3ヶ月以上延滞債権額	0.00	0.00	△0.01	0.00	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.09	△0.01	△0.03	0.10	0.12
	合計	3.98	△0.31	△0.69	4.29	4.67

【連結】

（単位：百万円）

		25年9月末	25年3月末比	24年9月末比	25年3月末	24年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	735	△506	△808	1,241	1,543
	延滞債権額	33,772	△2,302	△4,419	36,074	38,191
	3ヶ月以上延滞債権額	21	2	△39	19	60
	貸出条件緩和債権額	808	△74	△200	882	1,008
	合計	35,336	△2,881	△5,467	38,217	40,803
（部分直接償却額）		(6,103)	(△31)	(595)	(6,134)	(5,508)
貸出金残高（未残）		886,316	△3,264	13,942	889,580	872,374

（単位：％）

貸出金残高比	破綻先債権額	0.08	△0.06	△0.10	0.14	0.18
	延滞債権額	3.81	△0.25	△0.57	4.06	4.38
	3ヶ月以上延滞債権額	0.00	0.00	△0.01	0.00	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.09	△0.01	△0.03	0.10	0.12
	合計	3.98	△0.32	△0.70	4.30	4.68

4. 償却・引当基準と引当状況【単体】

自己査定債務者区分		金融再生法区分	償却・引当方針	
破綻先		破産更生債権及びこれらに準ずる債権	担保・保証等により保全のない部分に対し100%を償却・引当	
実質破綻先				
破綻懸念先		危険債権	担保・保証等により保全のない部分に対し、過去の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失額を引当。また、与信額が一定額以上の大口債務者のうち、合理的にキャッシュ・フローを見積もることができる債務者に対する債権についてはDCF法により引当	
要注意先	要管理先	要管理債権	担保・保証等により保全のない部分に対し、過去の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失額を引当。また、与信額が一定額以上の大口債務者のうち、合理的にキャッシュ・フローを見積もることができる債務者に対する債権についてはDCF法により引当	
	その他の要注意先	正常債権	一般先	貸倒実績率に基づき、今後1年間の予想損失額を引当
			DDS先	市場価格のない株式の評価方法に準じた方法や当該債務者に対する金銭債権全体について、優先・劣後の関係を考慮せずに算定された予想損失率を用いる方法等により算出した予想損失額を引当
正常先			貸倒実績率に基づき、今後1年間の予想損失額を引当	

5. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

	25年9月末	25年3月末比		25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
貸倒引当金	7,436	△366	△1,263	7,802	8,699
一般貸倒引当金	2,462	△109	△498	2,571	2,960
個別貸倒引当金	4,974	△257	△764	5,231	5,738

【連結】

(単位：百万円)

	25年9月末	25年3月末比		25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
貸倒引当金	7,659	△383	△1,297	8,042	8,956
一般貸倒引当金	2,579	△117	△516	2,696	3,095
個別貸倒引当金	5,080	△266	△781	5,346	5,861

6. 自己査定状況【単体】

(単位:百万円)

債務者区分		分類状況				
		債権残高	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先		719	371 (66)	348	— (64)	— (240)
実質破綻先		5,191	3,110 (1,588)	2,081	— (547)	— (974)
破綻懸念先		28,920	18,864 (15,748)	5,208	4,846 (7,962)	—
要 注 意 先	要管理先	979	135	843	—	—
	その他の要注意先	119,536	48,702	70,834	—	—
正常先		740,426	740,426	—	—	—
合計		895,774	811,611	79,316	4,846	—

(注) 1. ()内は引当前の分類金額
2. 部分直接償却額6,103百万円処理後の計数

7. 自己査定・保全の状況と開示債権【単体】

(単位:百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権	
債務者区分	残高	保全額	引当金	保全率	区分	残高	区分	残高
破綻先	719	414	304	100%	破産更生等債権	5,911	破綻先債権	712
実質破綻先	5,191	3,669	1,522	100%			延滞債権	33,767
破綻懸念先	28,920	20,957	3,115	83.24%	危険債権	28,920	3ヶ月以上延滞債権	21
要 注 意 先	(うち要管理債権) (828)	(296)	(213)	(61.55%)	要管理債権	828	貸出条件緩和債権	807
	要管理先	979	442	215	67.18%	小計	35,660	合計
	その他の要注意先	119,536			正常債権	860,113		
	正常先	740,426						
	合計	895,774			合計	895,774		

8. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

業種	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	886,434	△3,224	13,974	889,658	872,460
製造業	84,180	△4,036	△4,037	88,216	88,217
農業，林業	5,985	△43	△586	6,028	6,571
漁業	840	253	256	587	584
鉱業，採石業，砂利採取業	1,839	23	△373	1,816	2,212
建設業	60,895	△2,437	△837	63,332	61,732
電気・ガス・熱供給・水道業	1,200	0	△500	1,200	1,700
情報通信業	3,562	△954	△479	4,516	4,041
運輸業，郵便業	22,543	△440	335	22,983	22,208
卸売業，小売業	77,408	△5,297	△6,457	82,705	83,865
金融業，保険業	44,142	9,819	15,410	34,323	28,732
不動産業，物品賃貸業	93,657	1,887	4,602	91,770	89,055
サービス業等	92,301	△2,244	△3,094	94,545	95,395
地方公共団体	107,341	△1,914	6,818	109,255	100,523
その他	290,531	2,157	2,915	288,374	287,616

(2) 業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

業種	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	35,308	△2,876	△5,458	38,184	40,766
製造業	5,410	7	△433	5,403	5,843
農業，林業	139	△41	△23	180	162
漁業	1	0	0	1	1
鉱業，採石業，砂利採取業	243	△27	△218	270	461
建設業	8,775	△1,529	△2,014	10,304	10,789
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	412	167	126	245	286
運輸業，郵便業	1,251	18	△360	1,233	1,611
卸売業，小売業	5,754	△532	△1,337	6,286	7,091
金融業，保険業	—	△0	△0	0	0
不動産業，物品賃貸業	1,909	△18	34	1,927	1,875
サービス業等	6,524	△884	△508	7,408	7,032
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	4,886	△34	△725	4,920	5,611

(3) 業種別リスク管理債権の貸出残高比【単体】

(単位：%)

業種	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	3.98	△0.31	△0.69	4.29	4.67
製造業	0.61	0.00	△0.06	0.61	0.67
農業，林業	0.01	△0.01	△0.01	0.02	0.02
漁業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
鉱業，採石業，砂利採取業	0.03	0.00	△0.02	0.03	0.05
建設業	0.99	△0.17	△0.25	1.16	1.24
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	0.05	0.03	0.02	0.02	0.03
運輸業，郵便業	0.14	0.00	△0.04	0.14	0.18
卸売業，小売業	0.65	△0.06	△0.16	0.71	0.81
金融業，保険業	—	△0.00	△0.00	0.00	0.00
不動産業，物品賃貸業	0.21	△0.01	0.00	0.22	0.21
サービス業等	0.74	△0.09	△0.07	0.83	0.81
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	0.55	0.00	△0.09	0.55	0.64

(4) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
消費者ローン残高	262,581	1,466	4,606	261,115	257,975
うち 住宅ローン残高	242,992	2,346	5,774	240,646	237,218
うち その他ローン残高	19,588	△880	△1,168	20,468	20,756

(5) 中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比	24年9月末比		
中小企業等貸出比率	76.21	△0.72	△2.55	76.93	78.76

9. 国別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

該当ありません。

(2) アジア向け貸出金【単体】

該当ありません。

(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】

該当ありません。

(4) ロシア向け貸出金【単体】

該当ありません。

10. 預金、貸出金の残高【単体】

●預金の残高は、新潟県内を中心に24年9月末比171億36百万円増加し、1兆2,461億10百万円となりました。
 ●貸出金の残高は、24年9月末比139億74百万円増加し、8,864億34百万円となりました。住宅ローンを中心に個人ローンが増加したほか、事業者向け及び地方公共団体向け貸出金も増加しました。

(1) 未残

(単位：百万円)

	25年9月末	25年3月末比	24年9月末比	25年3月末	24年9月末
預金	1,246,110	1,167	17,136	1,244,943	1,228,974
うち新潟県内	1,115,309	1,822	18,328	1,113,487	1,096,981
貸出金	886,434	△3,224	13,974	889,658	872,460
うち新潟県内	677,241	△14,285	△7,272	691,526	684,513

(2) 平残

(単位：百万円)

	25年9月期	25年3月期比	24年9月期比	25年3月期	24年9月期
預金	1,210,436	18,082	18,522	1,192,354	1,191,914
うち新潟県内	1,090,015	17,352	17,112	1,072,663	1,072,903
貸出金	852,207	10,060	15,597	842,147	836,610
うち新潟県内	654,785	△4,059	△1,702	658,844	656,487

11. 預り資産(未残)の状況【単体】

●預り資産の残高は、24年9月末比76億74百万円増加し、1,285億36百万円となりました。一時払い終身保険を中心に保険が順調に増加したほか、投資信託も増加しました。

(単位：百万円)

	25年9月末	25年3月末比	24年9月末比	25年3月末	24年9月末
預り資産	128,536	△2,380	7,674	130,916	120,862
投資信託	35,646	△1,916	4,329	37,562	31,317
公共債	52,717	△3,550	△3,624	56,267	56,341
保険	38,044	3,404	7,093	34,640	30,951
外貨預金	2,127	△318	△125	2,445	2,252

Ⅲ. 有価証券の評価損益

●有価証券全体の評価損益は、単体・連結ともに128億55百万円の評価益となりました。

1. 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）	
満期保有目的有価証券	償却原価法（定額法）	
その他有価証券	時価のあるもの	時価法（評価差額を全部純資産直入法処理）
	時価を把握することが極めて困難と認められるもの	原価法
子会社株式及び関連会社株式	原価法	

（注） 単体・連結ともに同一の基準であります。

2. 評価損益

【単体】

（単位：百万円）

	25年9月末 評価損益	25年3月末比		25年3月末 評価損益	24年9月末 評価損益
		25年3月末比	24年9月末比		
満期保有目的	△298	△58	1,162	△240	△1,460
その他有価証券	13,153	△1,055	8,490	14,208	4,663
株式	3,041	510	2,364	2,531	677
債券	5,738	△1,203	△341	6,941	6,079
その他	4,373	△362	6,466	4,735	△2,093
合計	12,855	△1,112	9,652	13,967	3,203
株式	3,041	510	2,364	2,531	677
債券	5,697	△1,226	△362	6,923	6,059
その他	4,116	△395	7,650	4,511	△3,534

（注） 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、（中間）貸借対照表と取得価額（又は償却原価）との差額を計上しております。

2. 「その他有価証券」の評価については（中間）決算日の市場価格等に基づいております。

3. 平成25年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、8,652百万円であります。

【連結】

（単位：百万円）

	25年9月末 評価損益	25年3月末比		25年3月末 評価損益	24年9月末 評価損益
		25年3月末比	24年9月末比		
満期保有目的	△298	△58	1,162	△240	△1,460
その他有価証券	13,153	△1,055	8,490	14,208	4,663
株式	3,041	510	2,364	2,531	677
債券	5,738	△1,203	△341	6,941	6,079
その他	4,373	△362	6,466	4,735	△2,093
合計	12,855	△1,112	9,652	13,967	3,203
株式	3,041	510	2,364	2,531	677
債券	5,697	△1,226	△362	6,923	6,059
その他	4,116	△395	7,650	4,511	△3,534

（注） 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、（中間）連結貸借対照表と取得価額（又は償却原価）との差額を計上しております。

2. 「その他有価証券」の評価については（中間）連結決算日の市場価格等に基づいております。

3. 平成25年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、8,652百万円であります。

IV. 平成26年3月期業績予想

●平成26年3月期の業績予想(単体・連結)につきましては、平成25年5月10日公表の予想に変更ありません。

1. 単体

(単位:百万円)

	26年3月期予想		25年3月期実績
		25年3月期比	
経常利益	2,150	△472	2,622
当期純利益	1,240	△345	1,585

2. 連結

(単位:百万円)

	26年3月期予想		25年3月期実績
		25年3月期比	
経常利益	2,210	△492	2,702
当期純利益	1,270	△347	1,617

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。